

Acoustic Art



①豚丼の涙②ボギー③ノタルニア④ライツ&ウォーター⑤熱帯夜にやぐる蚊のサンバ⑥バリ島のワルツ⑦ネワリカバレコ(これぱっかりはね!)⑧モンクに文句⑨マイ・サン⑩バー・ムッシュ⑪太っちょママのブルース⑫豚丼の涙(バスクラ編)他12曲
山本太郎(cla, b-cla, ts), 外山安樹子(p)

[YPMレーベル
YPM019]

アコースティック・アート／山本太郎, 外山安樹子デュオ

自然な響きを大切にしたピアノ作品を中心にリリースしている、YPMレーベルの新作。本作は山本太郎と外山安樹子のデュオによる2枚組み作品で、Disc 1はオリジナル曲集、Disc 2がスタンダード曲集という構成。「アコースティック・アート」というタイトルどおり、ホールを使用したDSD録音で、ナチュラルで美しい響きを実現している。使用マイクが最小限で、リニアリティの高いシステムで聴くとステージ上の2人の姿がリアルに浮き上がってくる。

オリジナル曲はユーモラスなタイトルや意味深い作品で、2人の自由な発想によるインタープレイが展開されている。fレンジとDレンジが十分に確保されているからだろう、ピアノは豊かで美しく響き、クラリネットなど木管楽器も自然な温もりが感じられ、伸び伸びとしたサウンドが得られている。また余韻もクリアで濁りが感じられない。メジャー・レーベルのアコースティック楽器主体のジャズ系作品も、こうした録音手法を探ってくれたらと思う。

イージー・ダズ・イット／イン・ザ・スピリット・オブ・オスカー

何の予備知識もなく聴きはじめた本作は、往年のオスカー・ピーターソン・トリオに通じるスイング感あふれる演奏と感じられた。それもそのはず、グループ名が示すとおり長年オスカー・ピーターソンのサポートをしていたスウェーデンのジャズギタリスト、ウルフ・ワケニウスが、オスカーのジャズスピリットを継承しようということで結成したのだという。2年前に結成され、本作はそのセカンドアルバムである。

本作はピアニストのシェル・オ

ーメンがハモンドB3を弾いて⑨を演奏しているが、ジャズオルガンの第一人者ジミー・スミスへのトリビュートという意味も込められている。

バランスの良さが感じられるナチュラルなサウンドで、メーターが常に0dBを指すような大きな音ではないので圧迫感のない響きが聴ける。そのため音楽の抑揚感などが自然に引き出され、スネアドラムのショットなどもスムーズに立ち上がり、刺激的な響きがつきまとつことがないのも好ましい。

リスク・ファクター／太田朱美

鳥取県出身の女性ジャズ・フルート奏者、太田朱美的デビュー作。影響を受けたフルート奏者はジョー・ファレル、ハービー・マン、エリック・ドルフィーなどで、本作の聴くとメロディ・ラインやアドリブ・フレーズの端々で多彩な表現力が發揮されそれが実感できる。本作は彼女が現在活動中の自己のカルテットを中心に、ゲストとしてバーカッション、トロンボーン1本、木管楽器2本、ウッドベース1本とチェロ2本を加え、彼女およびメンバーのオリ

ジナル曲で構成されている。

商業的に考えるなら、スタンダード曲や過去にフルート奏者がヒットさせた楽曲を探り上げる方が有利だが、デビュー作でオリジナル中心の作品を作り上げる彼女の意欲を高く評価したい。彼女のフルートは女性いうことを意識させることのない線の太いトーンで力強さが感じられる。全体的にオリジナリティーが高く、彼女の曲解説を読めば曲のイメージがふくらみ、同グループの狙いも理解できるだろう。

Atacama



①ヘッド・ライト②エドエンパリーの海 アメリカ自然史博物館組曲③入场の曲④地図変動⑤生体発光⑥樹の詩⑦コモン・ローン⑧バンパー・グラゼ@鎌倉華蔵院⑨ゲシクト崩壊
太田朱美(Alto fl), 石田衛(p), 織原良次(Fretless B), 横本学(ds), Guest大儀見元(perc), Phonolite Ensemble 松本治(tb), 松風鉄一, 竹野昌那(reeds), 橋本歩, 幸山絃絃(Violoncello), 水谷浩章(b)

[イースト・ワークス・エンターテイメント
EWCD-0137 ¥2,858]